

テーマ型協働事業に対するコメント概要

事業名	ケアラズカフェ ～五感を癒そう～	
実施団体名	紡	
協働団体	愛媛県介護福祉士会	
テーマ提示課	今治市高齢介護課	
事業概要	<p>現在、高齢者・障がい者へのケアサービスを行っている介護職員は心身共に疲弊している。その結果、虐待事件が起こったり、辞職してしまうケースが増えている。更に介護職員の人材不足は深刻で、今後介護難民が増えてしまう可能性が大いにある。この問題を少しでも解消するために、介護職員が心身ともに癒され、ストレス発散やリラックスできたうえで仕事へのエネルギーを充電できるような場や機会を提供する。</p>	
補助額	市補助額 229,000円 (総事業額 448,120円 補助対象経費 327,236円 )	
コメント	実施団体	<p>高齢者・障がい者へのケアを行っている介護職員は心身共に疲弊しています。その結果、虐待事件が起こったり、離職してしまうケースが増えています。更に介護職員の人材不足は深刻で、今後介護難民が増えてしまう可能性もあります。この問題を少しでも解消するために、介護職員が心身ともに癒され、ストレス発散やリラックスできたうえで仕事へのエネルギーを充電できるような場や機会を提供するケアラズカフェを4回開催しました。4回のうち2回は「五感を癒そう」をテーマにカラーセラピー(視覚)アロマセラピー、匂い袋作り(嗅覚)、薬膳茶(味覚)マッサージ(触覚)癒しの音楽(聴覚)のブースを設け、自分の好きなものを選んで理由を語ってもらいました。あとの2回は、仕事上での人間関係のストレスに対して解消する方法、つまり自分自身は何が好きで何が嫌いなのかなど自分を知るワークを行いました。人間誰もが持つ感情「怒り」に焦点をあて、自分の怒りの特徴を知るワークを行いながらグループでシェアしました。明日からの仕事の活力となるような場や雰囲気を作るよう工夫をしました。参加者のアンケートでは、「参加してよかった」「次回も参加したい」「癒しに興味がある」「自分を知ることが出来た」など開催してよかったと感じることが出来ました。1回あたり10名程度の定員であるので、まだまだ市内の介護職員を応援できていませんが、この活動が少しづつ広がれば、利用者の方へ質の高い支援に繋がるのではないかと考えています。</p>
	市民活動推進委員	<p>継続性への懸念があるが、ケアマネや看護師等へ幅広く呼びかけることや、更なる現状把握をすれば一層効果が期待できるのではないかと。他方、参加者アンケートによる満足度の高さや思った以上の参加者数、難しいテーマながら取り組んだ結果、一団体での継続は難しいとわかったことでもっといろいろな機関と連携すれば次につながるのではないかと考える。参加者の満足度も高いので、必要とされている人にどう伝えていくの周知方法等も考えながら、継続して行ってほしい。</p>
	テーマ提示課	<p>介護職員の離職防止は当市だけでなく、全国的に課題となっているが、介護職員の心身のストレス状態をまずはゆるめ、自分を見つめることで次のステップを踏んだプログラムは画期的であると評価しています。職員の離職防止を長期目標に事業所や管理者の理解を得て、今回の経験を活かし参加者を増やすことが必要と思われるので、継続した取り組みを期待したいと思います。</p> <p>提供頂いたプログラムの中で様々な主体と協働することで、介護職員の心身のストレス状態を「ゆるめる」作業を十分に行うことができていたことが、アンケートの満足度に表れていると考えます。より多様な主体と協働することで、介護職員の離職防止に向けた取り組みの広がりが期待できると思われれます。</p>